

7. 受賞等

ここでは、気象研究所の職員が令和5年度に他機関から受けた表彰、及び取得した学位の一覧を掲載している。

受賞には、受賞者の氏名、賞の名称、表彰した機関名、表彰年月日を掲載している。

学位取得には、学位取得者の氏名、学位名、学位授与大学、取得年月日及び学位取得の対象となった論文名を掲載している。

7. 1. 受賞

大島 長、行本誠史、出牛 真、神代 剛、川合秀明、田中泰宙、吉田康平 日本大気化学会 2022年度論文賞、日本大気化学会、令和5年5月

山内 洋 岸保・立平賞、日本気象学会、令和5年5月

岩切友希 山本賞、日本気象学会、令和5年9月

溜渕功史 日本地震学会若手学術奨励賞、日本地震学会、令和5年10月

川端康弘、嶋田宇大、山口宗彦 気象集誌論文賞、日本気象学会、令和6年1月

平原翔二、足立恭将、石川一郎、藤井陽介、久保勇太郎、吉田拓馬、小森拓也、千葉丈太郎、高倉寿成、金濱貴史、関口亮平、越智健太、杉本裕之 気象集誌論文賞、日本気象学会、令和6年1月

7. 2. 学位取得

幾田泰醇

学位：博士（理学）（東京大学、令和5年12月18日）

学術論文：Improvements of the vertical structure of precipitation systems in the numerical weather prediction models by advancement of physical processes schemes using remote sensing observations as reference（リモートセンシング観測データを参照値として用いた物理過程スキームの高度化による数値予報モデルでの降水システムの鉛直構造の改良）

8. 研究交流

ここでは、気象研究所の職員が令和5年度に外国出張等により出席・参加した海外で行われた国際会議・研究集会・講演、気象研究所が令和5年度に他機関から受け入れた研究者、及び海外研究機関からの来訪者の一覧を掲載している。

8.1. 外国出張等

- 足立アホロ ・ 欧州地球惑星連合 2023 年総会 (European Geoscience Union General Assembly 2023) (23-28 April 2023), オーストリア・ウィーン, R5. 4.20~29
- 足立光司 ・ グリーンランドエアロゾル観測, デンマーク・グリーンランド, R5. 6.29~7.11
 ・ Svalbard Science Conference 2023 参加及び北極圏の雲・放射メカニズム解明に資するエアロゾル観測, ノルウェー・オスロ・ニーオルスン, R5.10.29~11.16
 ・ AGU 参加, 米国・サンフランシスコ, R5.12.10~17
 ・ ASIA-AQ 航空機観測の準備, 米国・パームデール, R5.11.28~12.3
 ・ ASIA-AQ 航空機観測参加, 韓国・フィリピン・タイ, R6.2.1~3.29
- 石井雅男 ・ 海面二酸化炭素観測・データ統合・プロダクトに関するワークショップ, ベルギー・オーステンデ, R5.11.4~11
 ・ Ocean Sciences Meeting 2024、及び GO-SHIP 運営委員会, 米国・ニューオーリンズ, R6.2.15~25
- 石島健太郎 ・ 大気観測 (JAL 機、シカゴ便), 米国・シカゴ, R5.5.15~17
 ・ 大気観測 (JAL 機、シカゴ便), 米国・シカゴ, R5.10.3~5
 ・ 大気観測 (JAL 機、バンコク便), タイ・バンコク, R6.1.17~18
- 幾田泰醇 ・ The 9th International Symposium on Data Assimilation, イタリア・ボローニャ, R5.10.14~22
- 碓氷典久 ・ OceanPredict DA-TT meeting, イタリア・ローマ, R5.5.8~12
- 遠藤洋和 ・ AOGS2023 20th Annual meeting, シンガポール, R5.7.30~8.4
 ・ 2023 TCCIP International Workshop On Climate Change, 台湾・台北, R5.11.22~24
- 大泉 伝 ・ AOGS2023 20th Annual meeting, シンガポール, R5.7.30~8.5
- 大河原 望 ・ グリーンランド氷床での現地観測, デンマーク・グリーンランド, R5.6.4~7.25
 ・ NREL 赤外放射計比較 (WMO 絶対赤外放射計比較を兼ねる), 米国・ゴールデン, R5.9.24~10.8
- 大島 長 ・ PACES Open Science meeting/AMAP SLCF community meeting/ABC-iCAP meeting/ABC-iCAP workshop/CACTI workshop 2023, フィンランド・ヘルシンキ・パラス/ドイツ・キール, R5.6.4~17
- 岡部いづみ ・ Aeolus science conference 2023, ギリシャ・ロードス島, R5.5.20~28
- 岡本幸三 ・ AOGS2023 20th Annual meeting, シンガポール, R5.7.31~8.4
 ・ EUMETSAT 気象衛星会議 2023, スウェーデン・マルメ, R5.9.9~22
- 小木曾 仁 ・ IUGG2023, ドイツ・ベルリン, R5.7.12~21
 ・ AOGS2023 20th Annual meeting, シンガポール, R5.7.29~8.5

- 小野耕介
折笠成宏
- ・Using ECMWF's Forecasts (UFE2023), イギリス・レディング, R5. 6. 4~9
 - ・WMO WWRP 気象変化に関する専門家チーム会合および IUGG2023 への参加, ドイツ・ベルリン, R5. 7. 9~19
 - ・高濃度氷晶雲 (HIWC) 2022 年キャンペーンに関するワークショップ (11/29-30), 米国・ボルダー, R5. 11. 28~12. 2
- 梶野瑞王
- ・欧州地球惑星連合 2023 年総会 (European Geoscience Union General Assembly 2023) (24-28 April 2023)、IIASA「インベントリ開発打合せ」(29 April-3 May 2023) / IRSN「湿性除去研究打合せ」(パリ 4-11 May 2023), オーストリア・ウィーン/フランス・パリ, R5. 4. 23~5. 12
 - ・バナラス・ヒンドゥー大学・インド工科大学デリー校でのエアロゾル雲相互作用に関する観測・モデル共同研究打合せ, インド、ヴァラナシ・デリー, R6. 2. 7~13
 - ・バナラス・ヒンドゥー大学・インド工科大学デリー校でのエアロゾル雲相互作用に関する観測・モデル共同研究打合せ, インド、ヴァラナシ・デリー, R6. 2. 7~13
- 川合秀明
- ・雲フィードバックモデル相互比較プロジェクト(CFMIP)会合 (2023. 7/10-13), フランス・パリ, R5. 7. 8~15
 - ・AGU Fall Meeting 2023 (12/11-15), 米国・サンフランシスコ, R5. 12. 10~17
- 川上雄真
- ・AOGS2023 20th Annual meeting, シンガポール, R5. 7. 30~8. 4
- 川瀬宏明
- ・第7回対流許容気候モデルワークショップ (7th Convection-permitting climate modeling workshop), ノルウェー・ベルゲン, R5. 8. 27~9. 2
 - ・CORDEX 全体国際会合, "イタリア・トリエステ", R5. 9. 24~30
- 川畑拓矢
- ・The 9th International Symposium on Data Assimilation, イタリア・ボローニャ, R5. 10. 14~22
- 工藤 玲
- ・ESA-JAXA Pre-Launch EarthCARE Science and Validation Workshop, イタリア・ローマ, R5. 11. 11~19
- 神代 剛
- ・AGU Fall Meeting 2023 (12/11-15), 米国・サンフランシスコ, R5. 12. 10~17
- 高野洋雄
- ・台風委員会移動セミナー, ベトナム ハノイ, R5. 6. 27~7. 1
 - ・JICA 技術協力プロジェクト大洋州第三国研修 (波浪・高潮), フィジー・ナンディール, R5. 8. 19~9. 3
 - ・第1回波浪、高潮、沿岸災害に関する国際ワークショップ, 米国・インディアナ, R5. 9. 30~10. 8
 - ・世界気象機関 (WMO) 第 II 地区気象・気候・水・環境サービス及び応用作業部会 (サービス作業部会) 第 10 回会合への出席, 米中国・重慶, R5. 11. 13~17
- 小杉如央
- ・海面二酸化炭素観測・データ統合・プロダクトに関するワークショップ (11/6-9), ベルギー・オーステンデ, R5. 11. 4~11
- 小寺祐貴
- ・IUGG2023, ドイツ・ベルリン, R5. 7. 14~21
- 佐谷 茜
- ・パリ五輪研究デモンストレーション会合 (RDP Paris) (12/12-15), フランス、パリ, R5. 12. 10~17
- 小司禎教
- ・International Conference on GPS Radio Occultation, 台湾・台北, R5. 10. 30~11. 4
- 高藪 出
- ・2023 TCCIP International Workshop On Climate Change, 台湾・台北, R5. 11. 22~26
- 田上雅浩
- ・International Symposium on Isotope Hydrology への参加, オーストリア・ウィーン, R5. 7. 1~9

- 高谷祐平
- ・ S2S Summit(7/3-7)・S2S 運営グループ会合(7/8), イギリス・レディング, R5. 7. 2~10
 - ・ WMO WIPPS ワークショップ, スイス・ジュネーブ, R5. 11. 12~19
- 谷川朋範
- ・ 科研費・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))共同研究推進, 米国・ホーバーケン, R5. 8. 3~10. 9
- 対馬弘晃
- ・ IUGG2023, ドイツ・ベルリン, R5. 7. 12~21
- 辻野智紀
- ・ AOGS2023 20th Annual meeting, シンガポール, R5. 7. 29~8. 5
- 坪井一寛
- ・ 大気観測 (JAL 機、シカゴ便), 米国・シカゴ, R5. 4. 3~5
 - ・ 大気観測 (JAL 機、シカゴ便), 米国・シカゴ, R5. 8. 21~23
 - ・ 大気観測 (JAL 機、シカゴ便), 米国・シカゴ, R5. 11. 20~22
 - ・ 大気観測 (JAL 機、シドニー便), オーストラリア・シドニー, R6. 1. 29~31
 - ・ 大気観測 (JAL 機、バンコク便), タイ、バンコク, R6. 3. 11~12
- 遠山勝也
- ・ Ocean Sciences Meeting 2024, 米国・ニューオーリンズ, R6. 2. 18~25
- 栃本英伍
- ・ 科研費・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))共同研究推進, ノルウェー・ベルゲン, R5. 9. 26~R6. 3. 20
- 溜淵功史
- ・ IUGG2023, ドイツ・ベルリン, R5. 7. 12~21
 - ・ AOGS2023 20th Annual meeting, シンガポール, R5. 7. 30~8. 5
- 直江寛明
- ・ IUGG2023, ドイツ・ベルリン, R5. 7. 10~18
 - ・ "The Role of Atmospheric Dynamics for Climate and Extremes A Joint SPARC DynVar・SNAP Meeting", ドイツ・ミュンヘン, R5. 10. 8~15
- 仲江川敏之
- ・ パナマ工科大学でのセミナー並びに科研費・国際共同研究加速基金(海外連携研究)の推進, パナマ・パナマシティ, R5年3-5月のうち2週間程度
- 庭野匡思
- ・ グリーンランド氷床での現地観測、および IUGG2023 への参加, デンマーク・グリーンランド、ベルリン・ドイツ, R5. 6. 4~7. 18
 - ・ 2023 Polar CORDEX Annual Meeting, オランダ・ユトレヒト, R5. 10. 3~7
- 野田朱美
- ・ Slow-to-Fast 地震学 押しかけワークショップ (メキシコシティ)、メキシコ、メキシコシティ, R6. 2. 25~3. 2
- 林 豊
- ・ IUGG2023, ドイツ・ベルリン, R5. 7. 12~20
 - ・ チリ大学国立地震観測センター評価委員会(11/20-24), チリ・サンチアゴ, R5. 11. 19~26
 - ・ 国連海洋科学の10年津波プログラム科学委員会 第4回会合 (2024. 1. 25-26), フランス・パリ, R6. 1. 23~28
- 藤井陽介
- ・ 2023年ヨーロッパ中期予報センター (ECMWF) 年次セミナーへの参加、招待講演、および、研究打ち合わせ, イギリス・レディング, R5. 8. 29~9. 9
 - ・ Ocean Reanalysis Workshop of the Copernicus Marine Service, フランス・ツールーズ, R5. 10. 9~14
 - ・ OceanPredict 科学チーム年次集会出席, 韓国・釜山, R5. 11. 5~11
 - ・ Ocean Sciences Meeting 2024, 米国、ニューオーリンズ, R6. 2. 18~25
- 福井 真
- ・ 2023 TCCIP International Workshop On Climate Change, 台湾・台北, R5. 11. 22~26
- 堀口桂香
- ・ IUGG2023, ドイツ・ベルリン, R5. 7. 14~21

- 堀田大介
- The 9th International Symposium on Data Assimilation (10/16-20), WMO INFCOM SC-ON Tiered Networks Workshop, イタリア・ボローニャ/スイス・ジュネーブ, R5.10.14~28
- 眞木貴史
- IWGMS-19(衛星からの温室効果ガス観測に関するワークショップ), フランス・パリ, R5.7.3~8
 - 世界気象機関(WMO) 砂塵嵐警戒評価計画(SDS-WAS) 全体運営委員会(GSC) 会合およびエアロゾル予測に関する国際協力計画(ICAP) 会合, ドイツ・ダームシュタット, R5.11.4~12
 - 第1回国際砂塵嵐会議, サウジアラビア・リヤド, R6.3.2~8
- 水田 亮
- 2023 TCCIP International Workshop On Climate Change, 台湾・台北, R5.11.22~24
- 山内 洋
- WMO INFCOM 現業気象レーダーに関する専門家チーム(JET-OWR) 第3回会合(ジュネーブ、6月13-16日予定), スイス・ジュネーブ, R5.6.11~18
- 山口宗彦
- 国連アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP) /世界気象機関(WMO) 台風委員会第56回年次会合への出席, マレーシア・クアラルンプール, R6.2.26~3.3
- 吉田康平
- The Role of Atmospheric Dynamics for Climate and Extremes A Joint SPARC DynVar・SNAP Meeting, ドイツ・ミュンヘン, R5.10.8~15
- 柳瀬 亘
- IUGG2023, ドイツ・ベルリン, R5.7.10~19

8.2. 受入研究員等

客員研究員

当所の研究の効率的な推進に資することを目的とし、当該研究に関する高度の専門知識を有し、当該研究を円滑に実施する能力がある研究者を客員研究員として受け入れている。令和5年度は次の48名を受け入れた。

杉 正人

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「地球システム・海洋モデリングに関する研究」

経常研究「大気の流れ過程の解明とモデル化に関する研究」

文部科学省先端プログラム「日本域における気候変動予測の高度化」

受入研究部：全球大気海洋研究部

野田 彰

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「地球システム・海洋モデリングに関する研究」

受入研究部：全球大気海洋研究部

岩切友希

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

経常研究「地球システム・海洋モデリングに関する研究」

日本学術振興会特別研究員研究課題「熱帯気候変動の力学および季節予報モデルによる延長予測可能性」

受入研究部：全球大気海洋研究部

Naresh Govind Ganeshi

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「次世代海洋データ同化・大気海洋結合データ同化に関する研究」

経常研究「全球数値予報モデル、季節予測システムに関する研究」

経常研究「異常気象のメカニズム解明と季節予測可能性の評価」

北極域研究加速プロジェクト (ArCS II) 「気象気候予測と予測手法の高度化」課題

受入研究部：全球大気海洋研究部

相澤拓郎

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「地球システム・海洋モデリングに関する研究」

北極域研究加速プロジェクト (ArCS II) 「北極大気環境研究」課題

受入研究部：全球大気海洋研究部

石崎 廣

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「マルチスケールに対応した海洋予測技術の開発に関する研究」

受入研究部：全球大気海洋研究部

牛島悠介

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「地球システム・海洋モデリングに関する研究」

受入研究部：全球大気海洋研究部

山上晃央

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「マルチスケールに対応した海洋予測技術の開発に関する研究」

科学研究費助成事業「夏季の北極低気圧の理解と短期～季節内スケールの北極大気予測精度向上」

受入研究部：全球大気海洋研究部

伊藤純至

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「高解像度非静力学モデルによる局地的な激しい現象の再現性向上」

経常研究「接地境界層における乱流輸送スキームの精緻化」

受入研究部：気象予報研究部

萩野谷成徳

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「接地境界層における乱流輸送スキームの精緻化」

受入研究部：気象予報研究部

島田利元

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「大気の物理過程の解明とモデル化に関する研究」

副課題「雪氷圏の監視・変動要因解明とその基盤技術の開発」

受入研究部：気象予報研究部

村上正隆

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「大気の物理過程の解明とモデル化に関する研究」（副課題5）

国交省交通運輸技術開発推進制度「ジェットエンジン出力停止及び航法計器異常を引き起こす高濃度氷晶雲の実態把握と検出法・予測法開発に関する基礎的研究」

ムーンショット目標8コア研究「安全で豊かな社会を目指す台風制御研究」

研究課題「室内実験による Microphysics スキームの構築」

受入研究部：気象予報研究部

内山明博

期 間：R5. 4. 1～R6. 3. 31

研究課題名：経常研究「データ同化技術及び全球同化システムの改良」副課題3「衛星・地上放射観測および放射計算・解析技術の開発」

受入研究部：気象観測研究部

増田一彦

期 間：R5. 4. 1～R6. 3. 31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題「衛星・地上放射観測および放射計算・解析技術の開発」

環境省地球一括「日本域に沈着する光吸収不純物に起因する雪氷面放射強制力の時空間変動監視と気候システムへの影響解明」

受入研究部：気象観測研究部

真野裕三

期 間：R5. 4. 1～R6. 3. 31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

受入研究部：気象観測研究部

小司禎教

期 間：R5. 4. 1～R6. 3. 31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題4「地上リモートセンシング技術及びそれらをコアとした水蒸気等の観測技術に関する研究」

共同研究「日本域4次元高機能気象データの整備及び気象データの利活用研究の推進」

受入研究部：気象観測研究部

内野 修

期 間：R5. 4. 1～R6. 3. 31

研究課題名：経常研究「地球システム・海洋モデリングに関する研究」

副課題5「科学輸送モデル、大気微量成分同化に関する研究」

受入研究部：気象観測研究部

鈴木 修

期 間：R5. 10. 1～R6. 3. 31

研究課題名：経常研究「台風・顕著現象の機構解明と監視予測技術の開発に関する研究」

受入研究部：気象観測研究部

伊藤耕介

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題「メソスケール高解像度同化システム及びアンサンブル摂動作成法の改良」
文部科学省「富岳」成果創出加速プログラム 防災・減災に資する新時代の
大アンサンブル気象・大気環境予測

受入研究部：気象観測研究部

呉 品穎(Pin-Ying Wu)

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題「メソスケール高解像度同化システム及びアンサンブル摂動作成法の改良」
文部科学省「富岳」成果創出加速プログラム「防災・減災に資する新時代の
大アンサンブル気象・大気環境予測」

受入研究部：気象観測研究部

Zamo Michael

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題2「メソスケール高解像度同化システム及びアンサンブル摂動作成法の改良」
経常研究「台風・顕著現象の機構解明と監視予測技術の開発に関する研究」
副課題2「顕著現象の実態解明と数値予報を用いた予測技術の研究」
文部科学省「富岳」成果創出加速プログラム「防災・減災に資する新時代の
大アンサンブル気象・大気環境予測」

受入研究部：気象観測研究部

澤田洋平

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題「メソスケール高解像度同化システム及びアンサンブル摂動作成法の改良」
文部科学省「富岳」成果創出加速プログラム「防災・減災に資する新時代の
大アンサンブル気象・大気環境予測」

受入研究部：気象観測研究部

露木 義

期 間：R5. 4. 1～R6. 3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題「メソスケール高解像度同化システム及びアンサンブル摂動作成法の改良」
文部科学省「富岳」成果創出加速プログラム「防災・減災に資する新時代の
大アンサンブル気象・大気環境予測」

受入研究部：気象観測研究部

Le Duc

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「データ同化技術と観測データの高度利用に関する研究」

副課題「メソスケール高解像度同化システム及びアンサンブル摂動作成法の改良」
文部科学省「富岳」成果創出加速プログラム「防災・減災に資する新時代の
大アンサンブル気象・大気環境予測」

受入研究部：気象観測研究部

石原正仁

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「台風・顕著現象の解明と監視予測技術の開発に関する研究」

副課題4「先端的気象レーダーの観測技術の研究」

受入研究部：台風・災害気象研究部

小林隆久

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「台風・顕著現象の解明と監視予測技術の開発に関する研究」

副課題4「先端的気象レーダーの観測技術の研究」

受入研究部：台風・災害気象研究部

新井健一郎

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「台風・顕著現象の機構解明と監視予測技術の開発に関する研究」

共同研究（JR 東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための
災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：台風・災害気象研究部

石津尚喜

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「台風・顕著現象の機構解明と監視予測技術の開発に関する研究」

共同研究（JR 東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための
災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：台風・災害気象研究部

藤原忠誠

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「台風・顕著現象の機構解明と監視予測技術の開発に関する研究」

共同研究（JR 東日本）「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための
災害気象の監視・予測手法の開発」

受入研究部：台風・災害気象研究部

今田由紀子

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

気候変動予測先端研究プログラム「気候変動予測と気候予測シミュレーション技術の高度化（全球気候モデル）」

気候変動予測先端研究プログラム「日本域における気候変動予測の高度化」

受入研究部：気候・環境研究部

黒田友二

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

科学研究費助成事業 新学術公募「対流圏ジェットの季節予測可能性に対する対流圏成層圏結合と中緯度海洋前線帯の役割」

受入研究部：気候・環境研究部

小寺邦彦

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

科学研究費助成事業 新学術公募「対流圏ジェットの季節予測可能性に対する対流圏成層圏結合と中緯度海洋前線帯の役割」

受入研究部：気候・環境研究部

柴田清孝

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

科学研究費助成事業 新学術公募「対流圏ジェットの季節予測可能性に対する対流圏成層圏結合と中緯度海洋前線帯の役割」

受入研究部：気候・環境研究部

高橋千陽

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

気候変動予測先端研究プログラム「気候変動予測と気候予測シミュレーション技術の高度化（全球気候モデル）」

気候変動予測先端研究プログラム「日本域における気候変動予測の高度化」

受入研究部：気候・環境研究部

岡田靖子

期 間：R5.10.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

受入研究部：気候・環境研究部

尾瀬智昭

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

環境研究総合推進費「極端気象の将来変化に関する物理的理解に基づく予測不確
実性を低減した情報伝達」

気候変動予測先端研究プログラム「日本域における気候変動予測の高度化」

科学研究費助成事業「梅雨と秋雨の過去120年間の長期変動の実態とメカニズムの解明」

受入研究部：気候・環境研究部

鬼頭昭雄

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

受入研究部：気候・環境研究部

楠 昌司

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「地球温暖化予測の不確実性低減」

受入研究部：気候・環境研究部

丹羽洋介

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「気候・地球環境変動の要因解明と予測に関する研究」

副課題「大気中温室効果ガスの変動要因・炭素収支の解明」

受入研究部：気候・環境研究部

松枝秀和

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：環境省地球一括「民間航空機を利用した大都市から全球までの温室効果ガス監視
体制の構築（R3-R7年度）環境省地球一括「大気成分の長期観測による海洋貯熱量および生態系への気候
変動影響のモニタリング」（R1～R5）

受入研究部：気候・環境研究部

勝間田明男

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「地震と津波の監視・予測に関する研究」

副課題1「地殻活動監視に関する研究」

経常研究「南海トラフ地震の地震像とスロースリップの即時把握に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

前田憲二

期 間：R5.4.1～R6.3.8

研究課題名：経常研究「南海トラフ地震の地震像とスロースリップの即時把握に関する研究」

経常研究「地震と津波の監視・予測に関する研究」

副課題1「地殻活動監視に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

福井敬一

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「火山活動の監視・予測に関する研究」

受入研究部：火山研究部

大泉三津夫

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「地域気候モデルによる予測結果の信頼性向上に関する研究」

受入研究部：応用気象研究部

伊東瑠衣

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：文部科学省先端プログラム 領域課題3「日本域における気候変動予測の高度化」

受入研究部：応用気象研究部

大竹秀明

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「シームレスな気象予測の災害・交通・産業への応用に関する研究」

共同研究「メソアンサンブル予報を用いた再生可能エネルギー出力予測に関する研究」

受入研究部：応用気象研究部

三浦陽介

期 間：R5.4.1～R6.3.31

研究課題名：経常研究「シームレスな気象予測の災害・交通・産業への応用に関する研究」

受入研究部：応用気象研究部

宮坂貴文

期 間：R4.4.1～R5.3.31

研究課題名：経常研究「シームレスな気象予測の災害・交通・産業への応用に関する研究」

受入研究部：応用気象研究部

リサーチアソシエイト

当該研究に関する高度な専門知識を有し、当所研究の効率的な推進に資することを目的とし、人材派遣会社との契約により気象研究所に派遣される研究支援者のうち、所長の承認を受けた者について「リサーチアソシエイト」の呼称を用いることができるとしている。令和5年度は次の4名（4案件）について承認した。

北村佳照

期 間：R5.4.3～R6.3.31

研究課題名：環境研究総合推進費「温室効果ガス収支のマルチスケール監視とモデル高度化に関する統合的研究」

受入研究部：気候・環境研究部

郭 威鎮

期 間：R5.4.3～R6.3.29

研究課題名：経常研究「大気の物理過程の解明とモデル化に関する研究」

受入研究部：気象予報研究部

八木俊政

期 間：R5.4.3～R6.3.29

研究課題名：経常研究「大気の物理過程の解明とモデル化に関する研究」
(副課題：接地境界層における乱流輸送スキームの精緻化)

受入研究部：気象予報研究部

野子谷一郎

期 間：R5.4.3～R6.3.29

研究課題名：経常研究「大気の物理過程の解明とモデル化に関する研究」
(副課題：接地境界層における乱流輸送スキームの精緻化)

受入研究部：気象予報研究部

8. 3. 海外研究機関等からの来訪者等

招聘研究者受け入れ

Mr. Saroj Acharya (ブータン気象水文局気象気候課)

期 間：令和5年6月14日～8月5日

用 務：ブータン域における地域気候モデルによる現在気候再現性の向上と将来気候変化予測に関する研究

担当研究者：村田明彦（応用気象研究部）

Mr. Lokesh Sahu (インド物理学研究所)

期 間：令和5年10月18日～11月19日

用 務：領域気象化学モデルによる南アジア域のエ어로ゾル・気象相互作用の研究に関する研究

担当研究者：梶野瑞王（全球大気海洋研究部）

Mr. Dilip Ganguly (インド工科大学デリー校)

期 間：令和5年10月18日～11月19日

用 務：領域気象化学モデルによる南アジア域のエ어로ゾル・気象相互作用の研究に関する研究

担当研究者：梶野瑞王（全球大気海洋研究部）

Mr. Binaya Kumar Mishra (ネパール ポカラ大学科学技術学部工学科)

期 間：令和5年10月11日～11月22日

用 務：ネパール域における地域気候モデルによる現在気候再現性の向上と将来気候変化予測に関する研究

担当研究者：村田明彦（応用気象研究部）

Mr. Lei Li (中国気象科学院 副研究員)

Ms. Xiaolan Li (中国大気環境研究所 研究員)

Ms. Qi Jiang (中国気象局 予報官)

Mr. Ke Gui (中国気象科学院 副研究員)

Mr. Juntong Zhong (中国気象科学院 科学研究員)

Ms. Ran Xu (中国気象局 予報官)

Ms. Manzura Nassyrova (カザフスタン気象局 課長)

Mr. Munkhbat Byamba-Ochir (モンゴル気象・水文・環境情報研究所 研究員)

Ms. Maimaitiaili Maimaitiyiming (中国気象局砂漠気象学研究所 研究員)

他、オンライン参加16名

期 間：令和5年10月30日～11月1日

用 務：世界気象機関(WMO)砂塵嵐警戒評価システムアジア地区運営グループ会合及び砂塵嵐ワークショップ

担当研究者：眞木貴史（全球大気海洋研究部）

Mr. Bün-Kim SAN (フランス気象局附属国立気象学学校 (Ecole Nationale de la Meteorologie (ENM)))

期 間：令和5年5月23日～7月23日

用 務：稠密・面的な非ガウス観測データの同化手法の刷新に関する共同研究

担当研究者：堀田大介（気象観測研究部）

Ms. Myriam TOPA (フランス気象局附属国立気象学学校 (Ecole Nationale de la Meteorologie (ENM)))

期 間：令和6年2月13日～8月9日

用 務：地域気候シミュレーションデータを用いた変動解析に関する研究

担当研究者：村田明彦（応用気象研究部）

Mr. Matthieu Charbonnel (フランス気象局附属国立気象学学校 (Ecole Nationale de la Meteorologie (ENM))
 期 間：令和6年2月13日～8月9日
 用 務：全球気候シミュレーションデータを用いた気候変動による極端現象の変化に関する研究
 担当研究者：保坂征宏 (気候・環境研究部)

Mr. Brian Vasel (米国商務省海洋大気庁 (NOAA) グローバルモニタリングラボ運営部長)
 期 間：令和5年10月2日～10月27日
 用 務：第27期マンスフィールド研修
 担当研究者：坪井一寛 (気候・環境研究部)

JICA 研修受け入れ

令和5年度 国別研修「気象観測・予報及び気象情報の住民までの伝達 (ブータン国別)」

Ms. SUBBA Monju
 Mr. TAMANG Ranjit
 Mr. DORJI Pema
 Mr. DORJI Yeshi
 Mr. WANGDI Jigme
 Mr. TASHI Sonam
 Mr. NAMGAY Tsheten
 期 間：令和5年5月7日～25日
 対応研究者：酒井 哲 (気象観測研究部)、山内 洋 (台風・災害気象研究部)、
 足立 透 (台風・災害気象研究部)

令和5年度 国別研修「レーダーQPE と警報 (スリランカ国別)」

Ms. Gayana Krishanthi Hendawitharana
 Mr. I.P. Ajith Gunasekara
 Mr. A.C.M. Rodrigo
 Mr. Wasantha Senadeera
 Ms. Chathushka Premachandra
 Mr. H.L. Prasanga
 Mr. Sinniah Kokularajah
 期 間：令和5年7月17日～24日
 対応研究者：山内 洋 (台風・災害気象研究部)、梅原章仁 (台風・災害気象研究部)

令和5年度 課題別研修「気候変動への適応 (オンライン研修)」

Ms. LANTO Olga Nene (コンゴ)
 Ms. ELAKABAWY Nagwa Ibrahim Ibrahim (エジプト)
 Mr. ZERATION Berihu Tesfamariam (エチオピア)
 Mr. BANI SALAMEH Ashraf Ahmad Khalaf (ヨルダン)
 Mr. BEBAGAR (パキスタン)
 Mr. ORTEGA Jello (フィリピン)
 Ms. ATONIO Edwina Mese Imakulata (サモア)
 Ms. AHMED Najah Faisal (ソマリア)
 Ms. WICKREMASINGHE Rajapakse Liyanage Hansula Rananjali (スリランカ)
 Ms. IESE Tautalo (ツバル)
 Mr. BULEWAK Mathias (バヌアツ)
 期 間：令和5年8月19日～9月26日
 対応研究者：須田一人 (気候・環境研究部)

令和5年度 課題別研修「気象業務能力向上」

Mr. DIAZ Gonzalo Martin (アルゼンチン)

Ms. PILIPOSYAN Narine (アルメニア)

Mr. HANNAN Md Abdul (バングラデシュ)

Mr. Omar Hassan Iltireh (ジブチ)

Ms. SOMCHANMAVONG Phetlasy (ラオス)

Ms. CUMBANE CUMBE Delcia (モザンビーク)

Ms. BASI Manju (ネパール)

Ms. JORDA Analiza (フィリピン)

Ms. KARUNAPALA Aluthgama Hewage Pabodini Priyanka (スリランカ)

Ms. KAEBUNGWAN Duangporn (タイ)

Mr. ANUNO Ozorio Obet Rud (東ティモール)

Ms. TRAN Thi Thuy Nga (ベトナム)

期 間：令和5年10月1日～12月13日

対応研究者：眞木貴史（全球大気海洋研究部）、足立 透（台風・災害気象研究部）、
 工藤 玲（気象観測研究部）、酒井 哲（気象観測研究部）、
 山内 洋（台風・災害気象研究部）、保坂征宏（気候・環境研究部）

令和5年度 課題別研修「気候資金アクセス強化－実務家向けの理論と実践」

Mr. BANARJEE Bijen (バングラデシュ)

Mr. POTT Nephi Ishmael (ベリーズ)

Mr. ATANA MELINGUI Elie Desire (カメルーン)

Mr. NKOUOU MEKA Jean Vianney (カメルーン)

Mr. SOLIS DURAN Alejandro (コスタリカ)

Mr. BALAGIZI Emmanuel Balemba (コンゴ民主共和国)

Ms. MCLEAN Schmoi Mellecia (ジャマイカ)

Mr. KADZIPONYE Arnold (マラウイ)

Mr. MAHMUDOV Shukrullo (タジキスタン)

Mr. TABAROV Sayoh (タジキスタン)

期 間：令和5年12月11日～令和6年2月9日

対応研究者：保坂征宏（気候・環境研究部）

9. 委員・専門家等

ここでは、令和5年度に気象研究所の職員が外部機関から委嘱を受けた委員・専門家等（令和4年度以前から継続しているものも含む）について、個人別に五十音順で掲載している。

9. 1. 国際機関の委員・専門家等

- | | |
|-------|--|
| 石井憲介 | ・気象・気候・水・環境サービス及び応用委員会（SERCOM）* 航空サービス常設委員会（SC-AVI）火山科学・応用諮問部会（AG-VSA）メンバー |
| 石井雅男 | ・全球海洋観測システム（GOOS）全球船舶海洋観測研究プログラム（GO-SHIP）推進委員会 委員
・北太平洋海洋科学機関気候-炭素部会（PICES S-CC）委員
・G7 海洋の未来イニシアティブ（FSOI）ワーキンググループ 委員
・気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第1作業部会第6次評価報告書執筆者リードオーサー |
| 石原幸司 | ・台風委員会（TC）* 作業部会 研修・研究作業部会 |
| 碓氷典久 | ・ユネスコ政府間海洋学委員会（UNESCO/IOC）海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み（OceanPredict）データ同化タスクチーム メンバー |
| 梅原章仁 | ・観測・インフラ・情報システム委員会（INFCOM）* 計測・追跡可能性・測器常設委員会（SC-MINT）現業気象レーダー専門家チーム（JET-OWR）メンバー |
| 浦川昇吾 | ・世界気候研究計画（WCRP）* 合同科学委員会（JSC）Climate and Ocean Variability, Predictability and Change（CLIVAR）海洋モデル開発パネル（CLIVAR/OMDP）委員 |
| 大河原 望 | ・観測・インフラ・情報システム委員会（INFCOM）* 計測・追跡可能性・測器常設委員会（SC-MINT）放射参照専門家チーム（ET-RR）メンバー
・国際標準化機構（ISO）太陽エネルギーに関する技術委員会（TC180）気象一測定及びデータに関する小委員会（SC1）第4作業部会（WG4）メンバー |
| 大島 長 | ・全球大気監視（GAW）計画* 砂塵嵐警戒評価システム（SDS-WAS）運営委員会アジア地区運営グループ（RSG）S2S 予測に関する作業グループ メンバー
・北極評議会／北極圏監視評価プログラム（AMAP）作業部会/短寿命気候強制因子専門家会合グループメンバー |
| 岡本幸三 | ・全球統合観測システム（WIGOS）* 定期要件審査（RRR: Rolling Requirements Review）における全球数値予報分野のコンタクトポイント |
| 折笠成宏 | ・国際気象学・大気科学協会（IAMAS）国際雲・降水委員会（ICCP）委員
・世界気象研究計画（WWRP）* WWRP 科学運営委員会（SSC）気象改変研究に関する専門家チーム（ET-WxMOD）メンバー |
| 梶野瑞王 | ・全球大気監視（GAW）計画* 砂塵嵐警戒評価システム（SDS-WAS）運営委員会アジア地区運営グループ（RSG）モデル相互比較に関する作業グループ メンバー |
| 高野洋雄 | ・気象・気候・水・環境サービス及び応用委員会（SERCOM）* 海上気象・海洋サービス常設委員会（SC-MMO）メンバー |

- ・ 気象・気候・水・環境サービス及び応用委員会 (SERCOM) * 海上気象・海洋サービス常設委員会 (SC-MMO) 沿岸危機対応専門家チーム (ET-CER) メンバー
- ・ 第Ⅱ地区協会 (RAⅡ) * 気象・気候・水・環境サービス及び応用作業部会 (WG Services) 海洋サービス専門家チーム リーダー
- 酒井 哲 ・ 観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 計測・追跡可能性・測器常設委員会 (SC-MINT) 高層気象観測専門家チーム (ET-UAM) メンバー
- 小司禎教 ・ 全球気候観測システム (GCOS) 気候のための大気観測パネル (AOPC) GRUAN に関する AOPC 作業グループ (WG-GRUAN) GRUAN タスクチーム TT GNSS-PW (GPS 可降水量チーム) メンバー
- ・ 国際測地学協会研究会 4.3.7 (IAG SG4.3.7 「リアルタイム GNSS プロダクト」) メンバー
- ・ 国際測地学協会合同ワーキンググループ 4.3.8 (IAG JMG4.3.8 「気候学のための GNSS 大気プロダクト」) メンバー
- 嶋田宇大 ・ 台風委員会 (TC) * 作業部会 研修・研究作業部会
- 須田一人 ・ 全球気候観測システム (GCOS) 運営委員会
- 関山 剛 ・ 全球大気監視 (GAW) 計画* 砂塵嵐警戒評価システム (SDS-WAS) 運営委員会 アジア地区運営グループ (RSG) データ同化に関する作業グループ メンバー
- 高谷祐平 ・ 観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 地球システムモデリング予測常設委員会 (SC-ESMP) メンバー
- ・ 世界気候研究計画 (WCRP) * 合同科学委員会 (JSC) Earth System Modelling and Observations (ESMO) 季節内から十年規模の気候予測作業部会 (WGSIP)
- ・ 世界気候研究計画 (WCRP) * 合同科学委員会 (JSC) Earth System Modelling and Observations (ESMO) 季節内から季節予報プロジェクト運営グループ メンバー
- ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) 結合予測タスクチーム メンバー
- ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 CLIVAR 小委員会 委員
- 高薮 出 ・ 世界気候研究計画 (WCRP) * Regional Information for Society (RifS) RifS Interim Coordinating Group メンバー
- ・ 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第1作業部会第6次評価報告書執筆者 リードオーサー
- 対馬弘晃 ・ 国際津波委員会 委員及びワーキンググループ メンバー
- 仲江川敏之 ・ 気象・気候・水・環境サービス及び応用委員会 (SERCOM) * 気候サービス常設委員会 (SC-CLI) 社会的利益のための調整気候情報専門家チーム (ET-CID) メンバー
- ・ 国際気象学・大気科学協会 気候国際委員会 委員
- ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 GEWEX 小委員会 委員
- 庭野匡思 ・ ヨーロッパ地球科学連合 (EGU) The Cryosphere 誌 編集委員
- 林 豊 ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 国連海洋科学の10年津波プログラム科学委員会 (ODTP-SC) 委員

- 藤井陽介
- ・ 全球海洋観測システム (GOOS) 熱帯太平洋観測システム (TPOS2020) 科学アドバイザー委員会 委員
 - ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) 科学運営委員会 (OPST) 委員
 - ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) 観測システム評価タスクチーム 共同議長
 - ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 国連海洋科学10年 研究プログラム ForeSea 運営委員会 委員
 - ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 国連海洋科学10年 研究プロジェクト SynObs 運営委員 共同議長
 - ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 国連海洋科学10年 研究プログラム CoastPredict 運営委員会 委員
- 堀田大介
- ・ 観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 地球観測システム・監視ネットワーク常設委員会 (SC-ON) 地球観測システムデザイン・開発合同専門家チーム (JET-EOSDE) メンバー
- 山内 洋
- ・ 観測・インフラ・情報システム委員会 (INFCOM) * 計測・追跡可能性・測器常設委員会 (SC-MINT) 現業気象レーダー専門家チーム (JET-OWR) 副議長
 - ・ 韓国気象庁 (KMA) とのレーダー交換の拡大に関するコンタクトポイント
- 眞木貴史
- ・ 全球大気監視 (GAW) 計画* 砂塵嵐警戒評価システム (SDS-WAS) 運営委員会 委員
 - ・ 全球大気監視 (GAW) 計画* 砂塵嵐警戒評価システム (SDS-WAS) 運営委員会 アジア地区運営グループ (RSG) 議長
- 水田 亮
- ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 Future Earth (FE)・世界気候研究計画 (WCRP) 合同分科会 CLIVAR 小委員会 委員
- 村田昭彦
- ・ 世界気候研究計画 (WCRP) * 合同科学委員会 (JSC) Regional Information for Society (RIFS) Working group on Building Blocks (BB1) メンバー
- 柳瀬 亘
- ・ Multidisciplinary Digital Publishing Institute (MDPI) Atmosphere 誌特集号 ゲスト編集者
- 山中吾郎
- ・ ユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO/IOC) 海洋解析・予報システムに関する国際的な枠組み (OceanPredict) 科学運営委員会 (OPST) 委員

* 世界気象機関 (WMO) に属する委員会等

9. 2. 国内機関の委員・専門家等

- 足立光司 ・ 日本学術会議 日本学術会議小委員会委員
- 足立 透 ・ 京都大学生存圏研究所 生存権フォーラム運営委員
・ 日本気象学会 第42期気象災害委員会 委員
- 荒木健太郎 ・ 防災科学技術研究所 客員研究員
・ 日本雪氷学会 理事会役員（理事）、電子情報委員長
・ 日本気象学会 気象研究ノート編集委員会委員
・ 株式会社フジテレビジョン 気象監修
・ 日本気象学会 第42期気象研究ノート編集委員会 委員
- 安藤 忍 ・ 日本測地学会 庶務委員長、庶務副委員長
- 幾田泰醇 ・ JAXA 宇宙航空研究開発機構 「地球観測に関する科学アドバイザー委員会」 分科会メンバー
- 石井雅男 ・ 海洋研究開発機構 IOC 協力推進委員会海洋観測・気候変動国内専門部会 委員
・ 国立研究開発法人 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業チーム型研究（CREST）領域アドバイザー
・ 日本気象協会 「IPCC 第一作業部会国内幹事会」幹事、「IPCC 国内連絡会」メンバー
・ 文部科学省海洋地球課 G7 海洋の未来イニシアチブ (FSOI) ワーキンググループ (WG)
・ 気象庁地球環境・海洋部 国立研究開発法人海洋研究開発機構 アルゴ計画推進委員会委員
- 石井正好 ・ 筑波大学 生命環境系 教授（連携大学）
・ 国立環境研究所 スーパーコンピュータ研究利用専門委員会 委員
・ 日本気象学会 第42期 SOLA 編集委員会 委員
- 石島健太郎 ・ 国立環境研究所 温室効果ガス観測技術衛星2号サイエンスチーム 委員
・ 日本大気化学会 第13期 運営委員
- 石田春磨 ・ 日本気象学会 第42期天気編集委員会 委員
- 石元裕史 ・ JAXA 宇宙航空研究開発機構 EarthCARE ミッション運用系システム利用研究系システム開発完了審査会の外部審査委員、「地球観測に関する科学アドバイザー委員会」分科会メンバー
・ 日本気象学会 第42期講演企画委員会
- 岩田 歩 ・ 日本気象学会 日本気象学会 2024 年度秋季大会 大会委員
・ 大気環境学会 第65回大気環境学会年会実行委員会（プログラム委員会）
- 碓氷典久 ・ 日本海洋科学振興財団 協力研究員
- 鶴沼 昂 ・ 日本気象学会 日本気象学会 2024 年度秋季大会 大会委員
- 梅原章仁 ・ 日本気象測器工業会 ISO/TC146/SC5 国内審議委員会 オブザーバー
・ 日本気象学会 第42期電子情報委員会 委員、第42期天気編集委員会 委員
- 浦川昇吾 ・ 日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
- 永戸久喜 ・ 日本気象学会 第42期学術委員会委員、第42期学術委員会データ利用部会員
- 遠藤洋和 ・ 日本気象学会 第42期気象研究ノート編集委員会 委員
- 及川栄治 ・ レーザセンシング学会 編集委員会委員、運営審議会 委員、第41回レーザセンシングシンポジウム現地実行委員会 委員

- 大河原望 ・日本気象測器工業会 国際標準化機構 (ISO) / 太陽エネルギーに関する技術委員会 (TC180) / 気象-測定及びデータに関する小委員会 (SC1) 国内審議委員会 委員
- 大島 長 ・日本気象学会 第42期天気編集委員会 委員
 ・日本大気化学会 第13期情報・広報準委員
 ・日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
- 太田芳文 ・日本気象学会 役員候補者選挙管理委員会 委員
- 岡本幸三 ・一般社団法人レーザセンシング学会 衛星搭載ライダーに関するプロジェクト調査委員会 委員
 ・日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
 ・日本気象学会 第42期学術委員会 委員、地球観測衛星部会 委員
 ・JAXA 宇宙航空研究開発機構 「地球観測に関する科学アドバイザー委員会」 EarthCARE 分科会、PMM 分科会、PMM 分科会、AMSR 分科会メンバー
- 奥山 哲 ・日本測地学会 編集委員
- 小野耕介 ・日本気象学会 第43期役員候補者選挙管理委員会 委員
- 梶野瑞王 ・総合地球環境学研究所 共同研究員
 ・筑波大学 生命環境系 教授 (連携大学)
 ・弘前大学 客員研究員
 ・日本分析センター 令和5年度大気環境における放射性物質の常時監視に関する評価検討会 委員
 ・日本エアロゾル学会 編集委員
 ・日本気象学会 第42期山本賞候補者推薦委員会 委員
- 加藤輝之 ・三菱総合研究所 気候変動を考慮した感染症・気象災害に対する強靱性強化に関するマニュアル整備 検討委員会 委員
 ・日本気象学会 第42期地球環境問題委員会 委員、第42期気象集誌編集委員会 委員
- 川合秀明 ・JAXA 宇宙航空研究開発機構 「地球観測に関する科学アドバイザー委員会」分科会メンバー
 ・日本気象学会 第42期気象集誌編集委員会 委員
- 川瀬宏明 ・防災科学技術研究所 客員研究員
 ・(一社) 日本気象予報士会 気象予報士 CPD 運営委員及び認定委員
 ・三菱総合研究所 令和5年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会 委員
 ・日本気象学会 第42期地球環境問題委員会 委員、第42期気象集誌編集委員会 委員、第42期教育と普及委員会 委員、第42期電子情報委員会 委員
- 川畑拓矢 ・神戸大学 客員教授
 ・筑波大学 計算科学研究センター共同研究委員会 委員
 ・日本気象学会 第42期気象集誌編集委員会 委員
- 川端康弘 ・横浜国立大学 非常勤講師 (IMS 客員研究員)
- 楠 研一 ・日本気象学会 第42期気象災害委員会 委員、第42期講演企画委員会 委員
- 工藤 玲 ・JAXA 宇宙航空研究開発機構 「地球観測に関する科学アドバイザー委員会」分科会メンバー
- 高野洋雄 ・日本エヌ・ユー・エス株式会社 令和4年度気候変動影響評価等に関する調査・検討等業務「気候変動の影響に関するWG 自然災害・沿岸域分野WG」 委員

- 小杉如央 ・日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
- 小寺祐貴 ・日本地震学会 広報委員会 委員
- 小林ちあき ・日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
・日本気象学会 第42期 SOLA 編集委員会 委員
- 酒井 哲 ・JAXA 宇宙航空研究開発機構 「大気浮遊物質検知ライダー実用化検討委員会」 委員
・一般社団法人レーザセンシング学会 衛星搭載ライダーに関するプロジェクト調査委員会 委員、総務委員会 副委員長、運営審議会 委員、第41回レーザセンシングシンポジウム実行委員会 委員長
- 佐藤英一 ・日本風工学会 代表委員、風災害研究会 委員
- 澤田 謙 ・日本気象学会 第42期気象研究ノート編集委員会 委員、第42期電子情報委員会 委員
- 嶋田宇大 ・横浜国立大学 非常勤講師（IMS 客員准教授）
・JAXA 宇宙航空研究開発機構 「地球観測に関する科学アドバイザー委員会」分科会メンバー
・日本気象学会 第42期松野賞候補者推薦委員会 委員
- 末木健太 ・理化学研究所 客員研究員
- 鈴木 修 ・日本風工学会 理事
・日本風工学会 風災害調査連絡会 副委員長
・日本風工学会 風災害研究会 委員
- 関山 剛 ・東京大学先端科学技術研究センター 「共創の場」形成支援プロジェクト ClimCORE に関わる気象学と人工知能との融合研究
・JAXA 宇宙航空研究開発機構 「地球観測に関する科学アドバイザー委員会」EarthCARE 分科会 メンバー
・茨城県 茨城県東海地区環境放射線監視委員会 委員
・日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
・日本大気化学会 第12期運営委員
- 瀬戸里枝 ・東京工業大学 東京工業大学 特別研究員
・土木学会 調査研究部門 水工学委員会 水文部会 委員、水工学オンライン小委員会 委員
- 高木朗充 ・日本火山学会 理事（副会長）、将来計画委員会 委員長、70周年記念事業ワーキンググループ 委員
・火山噴火予知連絡会 常時委員、専門委員（全地区担当）、火山調査研究検討会の設置に向けた準備会 委員
・文部科学省 次世代火山研究者プログラム 人材育成運営委員会 委員
- 高谷祐平 ・日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
・日本気象学会 第42期 SOLA 編集委員会 委員
- 高薮 出 ・国土交通省 海岸保全に係る気候変動適応コンソーシアム 委員
・日本気象協会 「IPCC 第一作業部会国内幹事会」 幹事、「IPCC 国内連絡会」 メンバー
・日本気象学会 第42期国際学術交流委員会 委員
・JAXA 宇宙航空研究開発機構 気候変動予測先端研究プログラム カーボンバジェット評価に向けた気候予測シミュレーション技術の研究開発（物質循環モデル）（領域課題2）運営委員会 委員

- ・国立環境研究所 環境研究総合推進費「極端高温等が暑熱健康に及ぼす影響と適応策に関する研究(1-2307)」課題アドバイザーボード 委員
- ・三菱総合研究所 令和5年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会 委員
- ・国土交通省 海岸保全に係る気候変動適応コンソーシアム 委員
- 田尻拓也 ・日本気象学会 第43期役員候補者選挙管理委員会 委員
- 谷川朋範 ・JAXA 宇宙航空研究開発機構 「地球観測に関する科学アドバイザー委員会」 分科会メンバー
- 溜瀧功史 ・日本地震学会 学生優秀発表賞選考委員会 委員、ジオパーク支援委員会 委員、代議員
- 辻野智紀 ・日本気象学会 日本気象学会2024年度秋季大会 大会委員、第42期気象集誌編集委員会 委員
- ・日本流体力学会 日本流体力学会誌「ながれ」 編集委員
- 辻野博之 ・東京大学大気海洋研究所 東京大学大気海洋研究所共同研究運営委員会気候モデリング研究部会 委員
- 対馬弘晃 ・日本地震学会 代議員
- ・防災科学技術研究所 南海トラフ海底地震津波観測網の整備に関する技術委員会
- 坪井一寛 ・国立環境研究所 令和5年度地球システム領域 地球環境研究センター運営委員会 委員
- ・産業技術総合研究所 客員研究員
- ・JAL財団 第4期航空機による地球環境観測推進委員会 委員
- 出牛 真 ・日本気象学会 第42期講演企画委員会 委員
- 寺崎康児 ・理化学研究所 客員研究員
- 徳廣貴之 ・日本気象学会 日本気象学会2024年度秋季大会 大会委員
- 栃本英伍 ・日本気象学会 第42期気象集誌編集委員会 委員
- 永井智広 ・レーザセンシング学会 理事、運営審議会 委員、第41回レーザセンシングシンポジウム現地実行委員会 委員
- 仲江川敏之 ・京都大学防災研究所 文部科学省委託研究業務「ハザード統合予測モデルの開発」に係る運営委員会 委員
- ・東京大学生産技術研究所 リサーチフェロー
- ・日本エヌ・ユー・エス株式会社 令和4年度気候変動影響評価等に関する調査・検討等業務「気候変動の影響に関するワーキンググループ(WG)」
- ・三菱総合研究所 令和5年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会 委員
- ・日本気象学会 日本気象学会2024年度秋季大会 大会委員
- ・日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
- ・文部科学省 令和6年度地球観測技術等調査研究委託事業「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第1作業部会に関する国内外の研究動向の調査等」 技術審査専門員
- ・国立環境研究所 応策推進のための気候変動予測・影響評価に係る連携ワーキンググループ 委員
- 長澤亮二 ・日本気象学会 日本気象学会2024年度秋季大会 大会委員

- 中村雅基 ・ 国土地理院 第 28 期地震予知連絡会 委員
- 西橋政秀 ・ 日本気象学会 日本気象学会 2024 年度秋季大会 大会委員、第 42 期気象災害委員会 委員
 ・ レーザセンシング学会 第 41 回レーザセンシングシンポジウム現地実行委員会 委員
- 庭野匡思 ・ 国立極地研究所 客員准教授、特別共同研究委員会委員
 ・ 防災科学技術研究所 客員研究員
 ・ 日本雪氷学会 電子情報委員
 ・ 日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
 ・ 日本気象学会 第 42 期 SOLA 編集委員会 委員
- 野坂真也 ・ 日本気象学会 第 42 期講演企画委員会 委員
- 野田朱美 ・ 防災科学技術研究所 客員研究員
 ・ 日本地震学会 地震編集委員会 委員、選挙管理委員会委員、代議員
- 橋本明弘 ・ 防災科学技術研究所 客員研究員
 ・ 日本気象学会 第 42 期理事、第 42 期講演企画委員会 委員長、第 42 期人材育成・男女共同参画委員会 副委員長、第 42 期電子情報委員会 副委員長、第 42 期企画調整委員会 委員
 ・ 日本地球惑星科学連合 プログラム委員会 委員
- 林 修吾 ・ 日本気象学会 第 42 期天気編集委員会 委員、第 42 期気象災害委員会 委員
 ・ 日本大気電気学会 選挙管理委員
 ・ 防災学術連携体 防災連携委員
- 林 昌宏 ・ 日本気象学会 第 42 期講演企画委員会 委員
- 林 豊 ・ 地震調査研究推進本部 専門委員
- 原田やよい ・ 日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
- 廣川康隆 ・ 日本気象学会 第 42 期講演企画委員会 委員
- 広瀬成章 ・ 日本海洋科学振興財団 協力研究員
- 弘瀬冬樹 ・ 日本地震学会 学生優秀発表賞選考委員会 委員、代議員
- 福井 真 ・ 東北大学大学院理学研究科 客員研究者
 ・ 日本気象学会 第 42 期講演企画委員会 委員
- 藤井陽介 ・ 統計数理研究所 客員准教授
 ・ 日本海洋科学振興財団 協力研究員
 ・ 日本学術会議 日本学術会議小委員会 委員
 ・ 文部科学省 G7 海洋の未来イニシアチブ ワーキンググループ 会期間活動
- 藤田 遼 ・ 国立環境研究所 将来温室効果ガス観測衛星の初期検討に関する検討会に出席し、意見を述べる
 ・ 国立環境研究所 2030 年代前半に打ち上げ予定である 4 世代目の温室効果ガス観測技術衛星 GOSAT において観測対象とする現象や物理量などのターゲット設定の初期検討を行うための会議に参加し、科学的・技術的助言を行う
- 干場充之 ・ 「大学×国研×企業連携によるトップランナー育成」コンソーシアム プログラム強化委員会・アドバイザリーボード委員
 ・ 日本地震学会 代議員、強震動委員会 委員
 ・ 建築研究所 国立研究開発法人建築研究所 研究評価委員会 地震工学分科会 委員
- 眞木貴史 ・ 日本エヌ・ユー・エス株式会社 日中韓三カ国黄砂共同研究ワーキンググループ 1

- 益子 渉
 - ・ JAXA 宇宙航空研究開発機構 GOSAT-2 定常運用終了審査会委員
 - ・ 株式会社 LIVEUP 令和 5 年度 将来温室効果ガス観測ミッション構想に関する会議
 - ・ 防災科学技術研究所 大型降雨実験施設運用委員会 委員
 - ・ 日本気象学会 第 42 期講演企画委員会 委員
- 松村崇行
 - ・ 日本気象学会 日本気象学会 2024 年度秋季大会 大会委員長
 - ・ JAXA 宇宙航空研究開発機構 「地球観測に関する科学アドバイザー委員会」委員
- 水田 亮
 - ・ 日本気象学会 第 42 期気象集誌編集委員会 委員
- 村田昭彦
 - ・ 日本エヌ・ユー・エス株式会社、令和 5 年度気候変動適応策の PDCA 手法検討委員会委員、「気候変動の影響に関するワーキンググループ」委員
 - ・ 三菱総合研究所 令和 5 年度 気候変動による災害激甚化に関する影響評価検討委員会委員
- 守永武史
 - ・ 土木学会 調査研究部門／構造工学委員会／風工学シンポジウム運営委員会／査読委員会 委員
- 谷口無我
 - ・ 一般社団法人日本温泉科学会 令和 5 年度一般社団法人日本温泉科学会 選挙管理員
- 柳瀬 亘
 - ・ 日本気象学会 第 42 期気象集誌編集委員会 委員
- 山口宗彦
 - ・ 横浜国立大学 先端科学高等研究院非常勤講師（客員教授）
- 山中吾郎
 - ・ 気象業務支援センター 気候変動予測先端研究プログラム領域課題 3 「日本域における気候変動予測の高度化」研究運営委員会 委員
- 行本誠史
 - ・ 日本気象学会 日本気象学会 2024 年度秋季大会 大会委員
- 吉田康平
 - ・ 日本気象学会 日本気象学会 2024 年度秋季大会 大会委員
- 吉田 智
 - ・ 神戸大学 客員准教授
 - ・ 日本大気電気学会 第 28 期運営委員、論文編集委員
 - ・ 日本大気電気学会 第 28 期 学術研究賞選考委員
 - ・ レーザセンシング学会 第 41 回レーザセンシングシンポジウム現地実行委員会委員
- 吉村裕正
 - ・ 日本気象学会 日本気象学会 2024 年度秋季大会 大会委員
- 渡邊俊一
 - ・ 日本気象学会 第 42 期講演企画委員会 委員

「気候変動予測先端研究プログラム」に関しては、研究運営委員会委員のみ記載しております。

気象研究所年報（令和5年度）

編集・発行 気象庁 気象研究所
〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1
URL : <https://www.mri-jma.go.jp>
